



# 育生小だより

NO. 17

令和4年3月18日

学校教育目標 【自ら学び 心豊かな 健康でたくましい子の育成】

## ☆卒業証書授与式☆

本日、令和3年度の卒業証書授与式が行われました。昨年度と同じように時間短縮を求められる中での卒業証書授与式でしたが、何とか卒業証書は子どもたち一人ひとりに渡すことができました。その卒業証書の左端には番号がついています。この番号は、本校の何番目の卒業生かを示す番号で、一人ひとりみんな違います。今年は新しいスタートとなる記念すべき101年目となり、本校の卒業生は10480名になりました。この卒業証書は、小学校6か年の全過程を立派に修了しましたというしるしであるとともに、一人ひとりの努力の証なのです。6年間の生活と歴史の重みがあります。

その卒業証書を手を、自身を持って、新しい、輝かしい次のステージに向けてのスタートを切ってください。

### 令和3年度卒業証書授与式 式辞

卒業生の皆さん。卒業おめでとうございます。

今日の良き日に、101年目を迎えるこの育生小学校で令和3年度卒業証書授与式を開催することができたことを、たいへんうれしく思います。心からお祝いを申し上げます。



皆さん、6年間を振り返ってみてどうですか？ 私は最後の2年間しか一緒に過ごせていませんが、この2年間だけでも皆さんは本当に大きく成長しました。人として体だけでなく心も大きく成長していることに自分でも気が付いていることでしょう。

ひとくちに6年といいますが、とても長い年月です。楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いこと、悔しいこともあったのではないのでしょうか。この間、皆さんが楽しく、快適に学校生活を送れるようにと、皆さんのご家族の温かいお世話や、地域の方々の見守り、先生方の指導等が大きく働いています。特に最後の2年間は、新型コロナウイルス感染症から皆さんの安全を守るために、毎朝の検温や体調管理など、家族のみならずには本当にたくさんお世話になりました。それらたくさんの人のご恩の深さを思い、感謝の気持ちをいつまでも忘れないでいてください。

さて今年度は、新種目での若者の活躍に目を見張り、手に汗握る熱戦に感動し、史上最多のメダル数を数えた夏のオリンピック、多様性を認め人間の可能性を実感したパラリンピック、そしてつい先日までコロナ禍で厳戒態勢の中行われた冬季オリンピック・パラリンピックがありました。

皆さんも、オリンピックやパラリンピックで活躍する選手の姿を目にしたとき、感動を覚えたのではないのでしょうか。そこでは、「挑戦する」ことや「一生懸命に取り組む」ことの大切さも実感したと思います。

選手のみなさんはいろいろな体験をして、興味を持ったものに挑戦し、一生懸命に取り組むことからオリンピック・パラリンピックへの道が開けたのだと思います。同じように、



小学校を卒業するみなさんにも運動・芸術・学問など、まずは様々なカテゴリーで興味があることを見つけ、「挑戦」してもらいたいと思います。「挑戦」をしてみると、その中で興味が増していくものと薄れていくものがあるはずです。その繰り返しの中から自分の道や目標が見えてくると思います。あとは、目標に向かって「一生懸命に取り組む」ことです。その姿がとても格好よく、人に感動を与えるのだと、これまでもいろんな場面で話をしてきました。

現在は新型コロナウイルスのまん延により、「挑戦する」活動が極端に制限されていますが、その中でも何ができるのか考え、工夫しながら、挑戦できるものを見つけてほしいと思います。

皆さんは一人ひとり、素晴らしい力を持っています。この2年間、私たちに見せてくれたように、その力を惜しまずに発揮し、これからも、「一生懸命に取り組む格好い姿」をたくさん見せ続けてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業まことにおめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

小学校6年間の課程を終え、心身共に大きく成長したお子様の姿をご覧になって、さぞ感慨深いものがあることと思います。

この6年間、育生小学校の職員一丸となって、卒業生の成長にむけて精一杯努力したつもりではありますが、いたらない点もあったことと思います。それにもかかわらず、本校や私たち職員に、お寄せくださいましたご厚意と、本校の教育活動へのご理解とご協力に対して、改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

さあ、卒業生の皆さん、いよいよ育生小学校とのお別れのときです。皆さんのことを、いつまでも応援しています。

みなさんの今後の活躍と健闘を心からお祈りし、私の式辞とします。  
それでは、さようなら。お元気で！

令和4年3月18日  
津市立育生小学校長 青木 修